

# きずな KOBE



第14号

TAKE FREE

November 2016



この広報誌は赤い羽根  
共同募金配分金を受け  
て発行しています。

**特集.1** 夢の舞台をともに駆ける  
“二人三脚”ランナーのきずな

**特集.2** ひととまちを想う、思いやりの発信地  
～まちの老舗美容室の活躍～



会いたかった Yes! この人

北菌 新光さん (リオデジャネイロパラリンピック  
男子柔道(視覚障害)代表)

美味しい! かわいい! 福祉のお店  
ボヌール・ヴェール

催し・イベント情報ほか  
読者アンケート&プレゼント

# 夢の舞台をともに駆ける “二人三脚”ランナーのきずな

視覚障がい者ランナーにとって、そのサポート役である伴走者は欠かすことのできない存在。ふたりでひとつの走りを駆ける両者の間には、どのような想いやきずながあるのでしょうか。今年の神戸マラソンでの出走を目前に控える岡崎さん・新子さんペアにお話を伺いました。



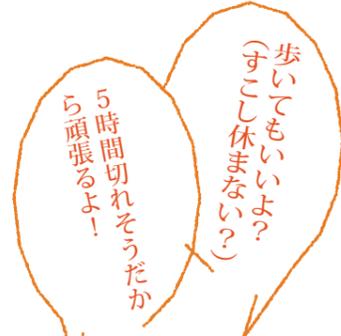
## PROFILE



**岡崎 明美さん (49歳)**  
先天的な目の障害により、現在は片方の目は全盲で、残る一方がかるうじて見える状態。一度はマラソンを諦めかけるも、3年前に新子さんの呼びかけにより挑戦を決意。



**新子 伸子さん (59歳)**  
岡崎さんのジム仲間。岡崎さんとは友人であり伴走のパートナーでもあるかけがえのない存在。



## 憧れながらも一度は諦めかけたマラソンへの想い

先天的に目の障害がある岡崎さんがマラソンを走りたいという想いを抱く原点は、高校生のころにさかのぼります。当時、マラソン大会で道沿いの声援の中を駆け抜けるランナーの姿を目の当たりにし、心を突き動かされたことが始まりでした。

**岡崎(以下緑字)**「かっこいい。私もたくさん声の中を走りたい」

しかし、ひとりで外を走るには多くの危険や困難が立ちはだかりました。

その現実を実感したとき、岡崎さんはマラソンへの想いを一度諦めかけてしまうのでした。

## ふたりの出会い

その後、大人になった岡崎さんはスポーツジムに通い始めます。目が見なくても、ひとりでできる運動をと水泳に力を入れ、マラソンへの憧れを胸に秘めながらも、走ることについてはランニングマシンで我慢するほかありませんでした。

そんなときに出会ったのが新子さんです。

**新子(以下青字)**「プールで一緒にしたとき、どうやら計測用のタイマーが見えてないなと気づいたんです。それ以来、私が声でタイムを伝えるようになり次第に仲良くなっていきました」

## ただ、友人として。はじめの一步は何気ないひと声

当時、ご主人の影響もあり走る楽しさに気付きはじめていた新子さん。誰かと一緒に走るともっと楽しいだろうなという考えから、ジムで一番の仲良しだった岡崎さんに声をかけました。

**「一緒に外で走らない？」**

このひと声が、岡崎さんがマラソンに挑むきっかけとなりました。

「当時から変わらないんですけど、あまり岡崎さんを障がい者だと思って接していないんです。同情とか気遣いなんかじゃなく、本当に、ただ走るときに隣にいてくれたら楽しいだろうなって考えて誘いました」

最初こそ外を走る勇気が奮わず断ってしまう岡崎さんでしたが、地元神戸でのマラソン大会の開催や、かつて憧れを抱き、胸に焼きついたランナーの姿を思い起こすうちに、一度は諦めかけたマラソンへの想いがふつふつと湧き上がってきました。

**「私も声援をうけながら走りたい。新子さん、一緒に走ろう」**

幾度にもわたる新子さんのラブコールが実を結び、3年前のその日、二人三脚でのマラソンが始まりました。

## ふたりでひとつの走りを

「そうしたいきさつで始めただけに、ペアでの走りは手探り状態からのス

タートでした」。安全なルートはどれか、声かけはどうやるか、走るペースはこれでよいか…練習で走るたびふたりで振り返りを欠かすことはなかったそうです。その甲斐あってか、元から仲が良かったためか、練習を重ねるごとに互いの呼吸が合っていました。

## すべての走りが思い出に

ふたりの初出場は10キロのコース。たくさんの人の中、道幅に限られながらも、信頼する新子さんの存在が岡崎

さんに不安や怖さを感じさせることはなかったそうです。その後、10キロを1回、フルマラソン2回を完走。初めてのフルマラソンで5時間11分だったタイムは、2回目には4時間40分と大幅に更新。「私は“歩いてもいいよ？”と気づかひながら密かに休憩を訴えたんですけど…」と話す岡崎さんに対し、「時計を見たら5時間を切れそうだったので…伴走者は前には出てはいけませんし、後ろからお尻をたたきながら励ましました」と笑顔で振り返るふたり。

コース上でのやりとりが目につかぶようです。

「大会だけではありません。外での走りは練習であっても思い出です。季節の移り変わりを肌に触れる空気や匂いで感じる喜びは、3年前に一步を踏み出したからこそ得られたものです」

練習中も家族のことやおすすめのお店、料理のコツなどおしゃべりが尽きないふたり。「おしゃべりしながら走るの、フルマラソンでもあつという間にゴールなんです」と話す新子さんに、

## ふたりからのメッセージ

当初、目の見えない私にひとりで走ることはできないと思っていました。でも、それは誰かの手を借りれば様々なチャレンジができるとも言い換えられるんです。私たちの走る姿が、次なる誰かが手を取り合い、新たに挑戦するきっかけとなってもらえたらうれしいですね。

毎週水曜日に練習している会下山公園



ふたりの心をつなぐ併走ロープ

応援よろしく  
お願いします!



ランニングウェアはキャップやシャツを互いにプレゼントし合って揃えたもの。きたる11月20日(日)、神戸マラソンにもこの姿で臨みます!

ひとまちを想う、思いやりの発信地

## まちの老舗美容室の活躍！

神戸市内に4つの店舗を構える老舗美容室「キミ・ロイヤル」。

60余年もの歴史ある同店の歩みには、本業の美容業だけでなく地域の一員として様々な活動に励む姿がありました。まちや人を想い、そして地域から愛される同店の取組みを紹介します。



### キミ・ロイヤルの取組み

昭和31年の開業以来、町内清掃や寄付活動、福祉施設への訪問美容など様々な活動を広げてきた同店。阪神・淡路大震災のときには、店舗を開放して被災者を受け入れ、備蓄食料で炊き出しもされたそうです。

中でも子ども向けのチャリティカットは、地域で評判の活動のひとつ。ある年の成人式の日、「今までお世話になりました」ととある青年が成長した姿を見てもらおうと着付けの依頼に来てくれたことも。

地域から愛される同店の一面を物語るエピソードです。



### お客さんに伺いました「キミ・ロイヤルってどんなお店？」

「こちらには私をはじめ、子どもたち、孫までと一家三代にわたってお世話になっています。娘のお宮参りや成人式のときには着付けもしていただくなど、私とともに家族の成長をあたたく見守り続けてくれました。

先生（丸山会長）とはもう40年来のお付き合いになります。毎月足を運ぶたび、笑顔で出迎えてくれて、今ではカットの相談から世間話まで、おしゃべりを楽しみながらリラックスした時間を過ごせる場所です。」

### 根底にある母の言葉

幼い頃、母から“人生はたらいの水のようなものだよ”とよく聞かされました。

自分のもとへかき寄せると手元から流れ出ていくたらいの中の水は、反対に押し出すとこちらへ戻ってくるように、見返りを求めずとも相手のためにを想って頑張れば、おのずと恩が巡ってくるという意味です。

私は、いつもこの言葉を胸に「今の自分たちには何ができるだろう」と考え、行動してきました。それはこれからも変わることなく、少しずつ歩んで参りたいと思います。



(有)ビューティサロン キミ 丸山会長

### キミ・ロイヤルの新たな取組み 「1Beauty for 1Smile 未来をつなぐ」プロジェクト



この度、キミ・ロイヤルは赤い羽根共同募金運動の募金百貨店プロジェクトに賛同し、新たな試みに臨みます。10月1日から来年3月31日までの期間中、東灘区内の店舗を利用するとその売上の一部がまちの福祉に役立てられます。まちを愛し、まちから愛されるキミ・ロイヤルの取組みに今後も注目です！

## 生命保険協会 兵庫県協会では 地域の社会福祉の充実に向け活動しています

### 地域福祉充実へ、昨年はこんな活動を行いました

- 子育てと仕事の両立支援に対する助成活動を行っています
- 介護福祉士さんの養成をサポートしています
- 献血活動への協力をを行っています
- 福祉巡回車の寄贈を行っています

兵庫県協会加盟会社(50音順)

アクサ生命・朝日生命・アメリカンファミリー生命・AIG富士生命・エヌエヌ生命・オリックス生命・かんぽ生命・ジブラルタ生命・住友生命・ソニー生命・損保ジャパン日本興亜ひまわり生命・太陽生命  
第一生命・大同生命・東京海上日動あんしん生命・日本生命・富国生命・フルデンシャル生命・マニユライフ生命・三井住友海上あいおい生命・三井生命・明治安田生命・メットライフ生命

生命保険協会 兵庫県協会 ☎078-332-6269 神戸市中央区伊藤町111 神戸商工中金ビル7F(受付時間:平日9:00~17:00)  
生命保険でお困りのことや、わからないことなど、ご相談をお受けしています。



# すべては世界に挑むため。 ストイックに高みを目指す若手柔道家に密着！

2016年、世界のアスリートたちが競い合ったリオデジャネイロの舞台に、神戸出身の若手柔道家の姿がありました。今号では、真摯に柔道と向き合い、視覚障がい者として世界の舞台に挑む北園選手にお話を伺いました。



リオデジャネイロパラリンピック柔道(視覚障害)男子73kg級代表  
**北園 新光** 選手  
1991年生まれ、神戸市北区出身。生まれつき両目に障がいがありながらも20年以上にわたる柔道に打ち込み、前大会のロンドンパラリンピックでも代表選手として出場。近年の全日本視覚障害者柔道大会においても連続優勝を収める、新進気鋭の注目選手。

## リオデジャネイロでの大会を振り返って

前大会は100kg級での出場でしたが、より自分に合った階級で闘うために、今大会では徹底的な減量により3階級下げて73kg級の代表として臨みました。

最終的に3位決定戦で負けてしまったためメダルには手が届かず、今でもその悔しさは忘れられません。ただ、前大会と比べ順位を上げることができ、反省も多かったですが練習の成果や自身の成長を実感できた大会でもありました。

## 20kg以上の減量は相当過酷なものだったのではないのでしょうか。

正直、めっちゃしんどかったです……！  
カロリー制限も徹底していたので、合宿に行ったときは出された料理でも制限上食べられないものには手をつけませんでした。代わりに持ち込んだ、my鶏肉をいつも食べていました。それを見た周りの選手からは「鶏肉食べすぎやろ！」とツッコまれたことがあります(笑)。  
でも、それもすべては世界に挑むため。辛くはありませんが妥協はしませんでした。

減量後の僕を見た地元の人達に、真顔で「どちらさまですか？」と言われたのはショックでした。

たけど(笑)。

## 北園選手の柔道との出会いは。そして今の北園選手にとっての柔道とは。

柔道をはじめたのは幼稚園の頃です。当時、試合で活躍する選手の姿をテレビで見かけ、そのかっこよさに憧れたことがきっかけでした。それから20年以上続けてきた今では、すっかり僕の日常の一部となっています。でも、障がいのある僕がこうして柔道と向き合える環境は、周囲の方々の支えあつてのもの。温かくサポートしてくれるみなさんへの感謝を忘れずに、日々練習に励んでいます。

## 北園選手の普段の姿は

どのようなものなのでしょうか。

週5日、午前と午後に分けて柔道の練習や技の研究、体力トレーニングを行っています。練習では兵庫県警の方々と一緒に、鍛えてもらえる機会もありますね。

練習が休みのときには、1歳とひと月になる子どもがいるので、須磨水族園をはじめ家族で楽しめるところに出かけています。ハードな練習の日々ですが、家族の存在は僕にとって大きな心の支えです。特に妻には、今回の減量生活でもなにかと助けてもらいました。

## 試合が近づくと必ずしていることがあるそうです。

高校時代から、試合が近づくと肉を食べて気合を入れるようにしています。最近では元町駅近くのローストビーフ井がお気に入りです。このところ減量も落ち着いてきたし、また食べに行きたいですね。

あと、僕はよく音楽を聴くんですけど、試合直前は音楽を聴いて集中力を高めます。好きなアーティストは「the pillows」、「amazara shi」、「凛として時雨」そして「しよこたん」です！先輩からは「試合前にしよこたん聞くんか……」と言われましたけど、こればかりは欠かすことはできません！

## 最後に、読者のみなさんへのメッセージをお願いします。

ロンドン大会では7位、今回のリオ大会では5位と、大会ごとに順位を上げ、着実に練習の成果を出せていると感じます。4年後の東京大会では、今度こそ3位以内に入りたい。言うまでもなく、試合に臨む以上は常に金メダルを狙って全力で挑みますが、  
そのためには、次も代表として世界の舞台に立つため、勝ち続けたいと思います！  
応援、よろしくお願いします！

今号は「みんな大好き 季節の人気メニュー」をお休みさせていただきます。

## 第六回 障がい者芸術の世界 こころのアート展

in しあわせの村 2016  
2016 11.10[木] - 11.30[水]  
場所: 本館、温泉健康センター

兵庫県内の応募者の中から選出された10名の作品190点余りをしあわせの村の本館や温泉健康センターに展示します。作者自身の内面から湧き上がる魅力ある世界をどうぞお楽しみください。



ワークショップ



藤本 真彦



梅本 和博

「こねてあそぼう！」  
～ねんどでストラップ作り～  
参加無料 当日先着250名  
11月13日(日)13:30～15:00(受付14:30まで)  
場所: しあわせの村芝生広場特設テント(雨天時は研修館大会講室)

美味しい！かわいい！福祉のお店



## 株式会社いくせい ボヌール・ヴェール

今年6月、株式会社いくせいが手がける「ボヌール・ヴェール」が北区鈴蘭台と中央区元町にオープン。知的障がい者が働く本格ベーカリーカフェとして評判になっています。おいしさも、店舗も、そこで働くスタッフも、それぞれが地域の一員として愛されるように取組む同店の魅力を紹介します。



鈴蘭台店外観



### もちもち健康パン

併設の工房で焼きあげられるつくりたて自家製パン。

小麦の外皮のみで作られる“ふすま粉”を使用したパンは栄養豊富で、糖質が気になる方にもうれしい品揃えです。自社農園の採れたて野菜と多品目の食材をたっぷり使用した、赤・緑・黄色の彩り豊かなランチもご賞味あれ♪



木のぬくもりを感じられる明るい店内。地域の人に役立ててほしいとの思いから、レンタルスペースやギャラリーとしての活用にも応じています(貸スペースは鈴蘭台店のみ)。



私のおすすめ自家製ピザもぜひ召し上がりください♪

鈴蘭台店スタッフの池田さん。接客に製造、出張販売と日々大活躍！「働きがいあって毎日楽しい。でも、もうちょっと緊張せずにオーダーが取れるようになりたいな」とはにかみながらも意気込みは十分。



秋の新作「蒸し鶏サラダともちもち健康パンのランチ」

### 同店に込める想いを伺いました



株式会社いくせい  
代表取締役社長  
中西 光政氏

障がい者が地域で自立した暮らしをおくるには、地域の一員としてもてる力を活かしながらまちに貢献し、交流を深めることが大切です。私たちはこのボヌール・ヴェールを障がい者の活躍の場であるとともに地域とのふれあいを育む交流スポットと考えています。おいしいという評判はもちろんですが、スタッフとの世間話なんかも気軽に楽しんでいただけるような、本当の意味でまちに愛される場所となるようみなさんとともに育てていきたいと思えます。趣味のグループや地域の集い場としても使っていただけたらと思いますので、ぜひお問合せください。



口コミで評判を聞きつけてやってきた奥様たち。まちの人とのつながりが新たな人を呼び、お店は今日も賑わいであふれています。

ボヌール・ヴェール ●元町店 神戸市中央区北長狭通4丁目7-34 ☎078-321-5530 営業時間 9:00~18:00(定休日:日)  
●鈴蘭台店 神戸市北区鈴蘭台南町6丁目14-15 ☎078-593-2600 営業時間 9:30~18:00(定休日:火、日)



PALMARY INN

シニアだからこそ、上質の生活クオリティを

#### PALMARY INN 新神戸

神戸市中央区加納町2丁目13-7



北野町・異人館街に佇む  
シティホテル型ホーム

フリーダイヤル ☎0120-861-872

#### PALMARY INN 須磨

神戸市須磨区千守町1丁目5-23



お屋敷街・須磨寺に隣り佇む  
ハイグレードホーム

フリーダイヤル ☎0120-587-788

#### PALMARY INN 明石

兵庫県明石市大久保町八木486



目の前に穏やかな海が広がる  
リゾート感覚ホーム

フリーダイヤル ☎0120-725-500

#### PALMARY INN 緑地公園

大阪府吹田市春日1丁目1-18



大阪都心へ一直線  
豊かで安心のハイゼンズホーム

フリーダイヤル ☎0120-770-868

介護付有料老人ホームのパーマリー・イン お問い合わせ・お申込みは各施設のフリーダイヤルで(受付時間/9:00~17:00) ご見学は随時受付中 <http://palmariyinn.com/>



# 11月～平成29年2月の催し・イベントご案内



## 催し 地域で「はたらく」キックオフ！シンポジウム

11月21日(月) 13:30～17:00

【基調講演】社会福祉法人 佛子園 理事長 雄谷良成氏

【場所】神戸朝日ホール

【対象】興味のある方ならどなたでも

【定員】500名 [事前受付/先着順 11月15日締切]

【参加費】無料

①② 神戸市社会福祉協議会 広報交流課  
☎078-271-5306 ④078-271-5365  
E-mail:volasen@with-kobe.or.jp

## 催し こうべ障害者音楽フェア2016 ジョイフルコンサート

今年は10周年の記念公演。ゲストに神戸市室内合奏団を迎え、障がいのあ  
る方のピアノ演奏と歌声をお届けします。

12月23日(金・祝) 14:00～16:15

【場所】神戸新聞松方ホール

【対象】興味のある方ならどなたでも

【定員】650名

[事前受付/先着順 定員に達し次第締切]

【参加費】1,000円(小学生以上)

①② こうべ障害者音楽フェア実行委員会事務局(障害者スポーツ振興センター内)  
☎078-271-5330 ④078-271-5367  
E-mail:joyful@kobesad.jp



## 講座 市民福祉大学からのお知らせ

### ●コミュニティ・ビジネス入門講座

12月6日(火) 13:30～16:30

【場所】こうべ市民福祉交流センター

【対象】興味のある方ならどなたでも

【定員】40名 [事前受付/抽選制 11月21日締切]

【参加費】500円

### ●地域福祉講演会 花田景子氏講演会

2月27日(月) 13:30～15:00

【講演者】花田景子氏(貴乃花部屋女将)

【場所】新長田ピフレホール 大ホール

【対象】神戸市内在住、在勤、在学の方

【定員】400名

[事前受付/抽選制 1月27日締切]

【参加費】無料

①② 神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学  
☎078-271-5300 ④078-271-5365  
E-mail:daigaku@with-kobe.or.jp



## 催し ドキドキ こべっこクリスマス

12月24日(土)～25日(日) 11:00～15:00

【場所】総合児童センター(こべっこランド)

7階 こべっこホール、研修室

【対象】幼児と保護者、または 18歳未満の児童

【定員】1日5回、各回60名 [当日受付/先着順] 【参加費】無料

② 神戸市総合児童センター運営課  
☎078-382-1300 ④078-351-0684  
E-mail:mail@kobekko.or.jp

## 区社会福祉協議会からのお知らせ

## 講座 第6回北区健康講座

12月10日(土) 14:30～16:00

【講師】兵庫県医科大学歯科口腔外科 主任教授 岸本裕充氏

【場所】北区民センター すずらんホール

【対象】興味のある方ならどなたでも

【定員】400名 [事前受付/先着順 12月7日締切] 【参加費】無料

①② 神戸市北区社会福祉協議会  
☎078-593-1111 ④078-593-9822

## 講演会 舞の海秀平氏福祉教育講演会と表彰式

12月18日(日) 13:00～15:50

【講演者】舞の海秀平氏

【場所】神戸朝日ホール

【対象】興味のある方ならどなたでも

【定員】300名 [事前受付/抽選制 11月30日締切]

【参加費】無料

①② 神戸市社会福祉協議会 広報交流課  
☎078-271-5306 ④078-271-5365  
E-mail:volasen@with-kobe.or.jp



## ご報告 神戸市社会福祉大会を開催しました



9月6日(火)に神戸文化ホールで「平成28年度神戸市社会福祉大会」を開催しました。この大会は、社会福祉関係者が一堂に会して市民の福祉推進の決意を新たにするとともに、社会福祉事業の功労・奉仕者等の功績を顕彰するものです。大会冊子(受賞者名簿)を本会ホームページに掲載しています。  
URL:<http://www.with-kobe.or.jp/>

## ご寄附をありがとうございます。～みなさまの善意を神戸市の福祉活動に役立てます～

※寄附をしていただいた個人・法人は、所得税・法人税の優遇処置が受けられます

【善意銀行】平成28年6月～9月末 善意銀行では、金銭・物品のご寄附を「金銭口座」と「物品口座」にお預かりしています。(敬称略。ご承諾をいただいた方のみ掲載しています)

預託の部

金銭口座:岡本尚彦、匿名5件

物品口座:兵庫信用金庫、有限会社 創和ハウジング、ネットヨタゾナ神戸株式会社

払出の部

金銭口座:特定非営利活動法人 ネットワークながた、ひょうご失語症者の会、兵庫県肢体不自由児者父母の会連合会、神戸市児童養護施設連盟、社会福祉法人 神戸市身体障害者団体連合会、一般社団法人 神戸市老人クラブ連合会、学園都市地区民生委員児童委員協議会、社会福祉法人 神戸市母子福祉たちばな会、公益財団法人ひょうご子ども家庭福祉財団

物品口座:駒どりの郷、神戸まどか園、三芳苑、ケアハウス須磨港の里みち、すまいるSUMAデイサービスセンター、ふじの里デイサービスセンター、老人デイサービスセンター八多の里、デイサービスセンターさくらの家、デイホームひだまり、なごみデイサービス、デイサービスセンターまほしの里、鈴の音リハビリテーションセンター、デイサービスストロベリー、リハビリクラブスキップ、おもしろや、デイサービスセンターシャールカトリア

## 平成28年熊本地震災害救援募金のご報告とお礼について

神戸市社会福祉協議会で実施いたしました平成28年熊本地震災害救援募金につきまして、各種団体、市民のみなさまからの心温まるご支援により、45,092,285円のご寄附をお寄せいただきました。うち40,000,000円を第1次義援金として被災された各自治体へ贈呈させていただきました。ご協力いただきましたみなさま方には心より感謝申し上げます。



読者のお声

# VOICE

～第13号に寄せて～

## プレゼント

アンケートにご協力ください（応募締切：11月30日必着）

「きずな♥KOBÉ」第14号はいかがでしたか？

ご覧になった感想をお寄せください。お寄せいただいた方の中から抽選で、下記のプレゼントをお贈りいたします。

### A

#### 「ボヌール・ヴェール」よりペアお食事券

今号で紹介したボヌール・ヴェールより、ペアお食事券2,000円分をプレゼント！

地産地消にこだわり、健康に配慮した同店自慢の品々をご賞味ください。

※店内での飲食のほか、テイクアウトにもご利用いただけます。

※元町店、鈴蘭台店の両店舗でご利用いただけます。

5組10名様



### B

#### 神戸ふれあい工房よりバタークッキーセット

神戸市西区「なでしこの里」のバタークッキーセットをプレゼント！

発酵バターの風味豊かなクッキーは、保存料未使用の手づくりの品。

三田市の有名菓子店「サント・アン」協力のもと生み出された新商品です。

アーモンド、チョコレート、バターの3つの味を、それぞれ装いの異なるおしゃれなパッケージでお届けします。

5名様



#### 【応募方法】ハガキまたはEメールで

お名前、ご住所（〒）、電話番号、年齢、性別と希望のプレゼント名、本誌へのご感想を明記して、下記までご応募ください。当選者の発表は商品の発送に代えさせていただきます。

ハガキ 〒 651-0086

神戸市中央区磯上通 3-1-32

神戸市社会福祉協議会

「きずな・こうべ」プレゼント係へ

Eメール kouhou@with-kobe.or.jp

※次号は2017年3月の発行予定です

## トヨタハートフルプラザは、トヨタの福祉車両「ウェルキャブシリーズ」の総合展示場です。



### 来て、見て、さわって体感しよう!!

ウェルキャブを常時10台取り揃え、カタログだけではわからない実車の使い勝手や機能・操作の確認をしていただけます。

専任のスタッフがお客様一人ひとりのご要望にあったクルマ選びのお手伝いをいたします。

カスタマイズの相談も承ります。

お気軽にご来場ください。



10台  
常時展示



〒650-0023

兵庫県神戸市中央区栄町通7-1-3-2F

神戸中央郵便局西向い

トヨタウェルキャブ 総合展示場 **トヨタハートフルプラザ神戸** TEL.078-366-1616 FAX.078-360-0399

営業時間 / 午前10:00～午後6:00

定休日 / 毎週月曜日および第2週火曜日（祝日の場合は翌日）

ハートフルプラザ神戸

検索

<http://toyota.jp/heartful/>

## きずな♥KOBÉ 第14号

(2016年11月発行)

発行 社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32 こうべ市民福祉交流センター

<http://www.with-kobe.or.jp/> TEL 078-271-5306 FAX 078-271-5365

製作 株式会社高速オフセット

「きずな♥KOBÉ」では、企業等の広告を募集しています。広告掲載のお問い合わせは、078-271-5306 神戸市社会福祉協議会 広報交流部へ。

神戸市社協広報印刷物登録

平成28年度第10-2号 広報印刷物規格A-3類



この広報誌は、ふれあいのまちKOBÉ愛の輪運動の補助を受けて発行しています。